

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202007

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	5 施設・備品の有効活用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町民センター施設更新事業	見直し年度		
事業期間	平成21年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	町民センター施設の改修件数		#N/A	
事業目標	5件	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	○高圧受電設備変更工事 ○電源設備更新事業 ○AED設置 ○大集会室床改修 ○2階トイレジェットタオル設置 ○トイレ便器等清掃委託 ○高圧引込ケーブル更新 ○バリアフリー工事 ○1階トイレ改修 ○2階会議室等改修 ○2階トイレ改修 ○トップライト改修 ○電灯用変圧器交換 ○外灯設置 ○教養室畳更新 ○事務室等ブラインド更新 ○全室網戸設置 ○地下重油タンク改修		①高圧受電設備変更工事 ～1,618千円 ②電源設備更新事業 ～1,733千円 ※予備発電機用バッテリー 取替工事 ～1,055千円 ※高圧柱上区分開閉器取替工事 ～678千円	①AED設置 ～98千円	①大集会室床改修 ～3,373千円 ②2階トイレジェットタオル設置 ～168千円 ③トイレ便器等清掃委託～61千円 ④高圧引込ケーブル更新347千円 ⑤バリアフリー工事 ～2,520千円 ⑥1階トイレ改修～7,875千円	①2階会議室等改修～2,842千円 ②2階トイレ改修～2,852千円 ③トップライト改修～1,707千円 ④電灯用変圧器交換～725千円 ⑤外灯設置～410千円 ⑥教養室畳表替～243千円 ⑦ブラインド更新～310千円 ⑧全室網戸設置～1,400千円 ⑨地下重油タンク改修～1,281千円	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	33,164	0	3,351	98	17,945	
財 源 内 訳	国庫支出金	1,733		1,733			
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	31,431		1,618	98	17,945	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	29,064	0	3,245	172	14,343	
財 源 内 訳	国庫支出金	1,680		1,680			
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	27,384		1,565	172	14,343	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 経済危機対策臨時交付金		(実施内容等) 高圧受電設備変更工事	(実施内容等) ジェットタオル取付	(実施内容等) 大集会室床改修工事 2階トイレジェットタオル設置 トイレ便器等清掃委託 高圧引込ケーブル更新事業 バリアフリー工事(手摺・踏石) 1階トイレ改修工事	(実施内容等) 2階トイレ、会議室等改修 トップライト改修 電灯用変圧器交換 外灯、全室網戸設置 教養室畳表替、ブラインド更新 地下重油タンク改修	
		【評価・実績】	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	2件	1件	2件	上記改修工事等	
		年度達成率	#DIV/0!	97%	176%	80%	96%
		全体達成率	0%	10%	10%	54%	88%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	町民センター施設更新事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公輔

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民センター	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	2階トイレ、会議室等改修、トップライト改修、電灯用変圧器交換、外灯、全室網戸設置、教養室畳表替、ブラインド更新、地下重油タンク改修								
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化に伴う利用者及び世代層に対応した施設等の整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者のニーズ等に対応した施設整備により、町民に利用しやすい施設環境の構築を図る	① 2階トイレ、会議室等改修、トップライト改修、電灯用変圧器交換、外灯、全室網戸設置、教養室畳表替、ブラインド更新、地下重油タンク改修	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1式	実績値	1式	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1式										
実績値	1式										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用者のニーズ等に対応した施設の整備と適切な維持管理	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	施設内改修工事	2階会議室等改修、2階トイレ改修、トップライト改修、電灯用変圧器更新、外灯設置、網戸設置									
	教養室畳表替、ブラインド更新	畳表替42枚修繕、ブラインド12枚更新									
	地下重油タンク改修	重油漏出防止措置									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	利用者ニーズ等に対応し、老朽化した施設等の整備を計画的に実施する必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	予定どおりに事業が実施され、利用者のニーズに対応した整備とともに利便性の向上が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町内業者及び専門業者による指名競争入札と見積合せにより適切な事業費で効率的な整備を行った。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民センターは一般町民が利用の対象であることから、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
利用の利便性を向上させる事業の実施を図ることができた。		

今後の展開方向(Action)		
終了		
利用者のニーズに対応した施設整備が終了したため。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止